

「授業備品」N017 H. 28. 5. 23「授業づくりベーシック(高知版学習過程スタンダード)」(6県に配布中)

与那国島・土佐町・三原村・新転入の皆さん、今回の授業備品を読み、一生の財産を創ってください。西留

学校は、子供の未来を保障するため授業を行っている。教師主体(しゃべる授業)では、子供に力がつかない。全国レベルの力をつけてやる(子供が主体的・協働的)ことを目指そう。地元の数値で満足しない。

1 理由をつけてこなかったか

- ・学力だけが教育の目標ではないという論理のすり替えをしていないか。
- ・「学力だけが教育ではない」と言い方を逃げ道にしていないか。
- ・学力には点数で評価できないものがあると強調することで点数学力を軽視してこなかったか。
- ・教師は「書く力が弱い」「計算する力が弱い」「覚える力がない」という言い方で子供の責任にできなかったか。

2 いまだに従来型の授業が続いている

多弁で教え込む知識・技能のメッキはすぐにはがれる。その場では覚えられても、すぐに忘れる知識・技能にすぎない。テストの点数だけを重視する授業で学んだ知識・技能だからだ。こうした授業は、子供が生きる力を身に付けさせることにはつながらない。「一夜漬け」の知識習得学習が人生には役に立たなかったことを思い出そう。どうか授業に問題があることを気付いて欲しい。小中の授業にギャップがあることも気付いて欲しい。

3 学力観の転換

学力を向上させること自体が目的ではない。将来を担う人材を育てるために学力を上げる。

- ・学力があがれば学校は楽しくなる。楽しくなれば学校が落ち着く。
- ・全国学力テは、多くの教材の中で学力全体を見ているわけではないという見方もあるが結果は素直に受け止め学習指導に生かす。
- ・基礎学力がついたかどうかを検証しないと学校や教員の自己満足になる。

4 授業改善しかない

学力向上のためにまず授業を変える。教師自身に向上心があるかないかで子どもの学ぶ意欲も変わってくる。

- ・教員の力を磨くには日々の授業と研修しかない。
- ・リーダーが教員に授業改善に努力を求める「厳しさ」が学力向上には欠かせない。

5 分からない子を仲間でサポートする(協働的)

分かる子を優先した授業をしてこなかっただろうか。アクティブ・ラーニングは、「仲間内で学ぶ」こともねらいと思われる。グループ学習では分からない子から発表をする。見通しをもたせる時間に「解決が出来るかどうか」を尋ね、グーカパーの挙手をさせる。見通しが立てられない子が多いときは、即座にグループ学習を取り入れる。また、分からない子は分かる子に聞きに行かせる。一人学びの後は、立ち歩きで情報をつかませに行かせ、加除訂正をさせ全員に何らかの考えを持たせる。こうした手法がこれから中心となるだろう。

- ・子供が一人で問題に取り組むのではなく「ペアで意見を交換する」「子供が説明する」授業。
- ・分かっている人が分からない人に伝え、分からない子は仲間から教師とは違う視点で説明を聞く授業。
分からない子には、大きなチャンスとなる。
- ・子供が自分で考え判断したことをコミュニケーションをとりながら子供同士で伝え合う授業。

6 学校・教員ごとのバラバラな授業のルールの一

授業力の改善が図られなかったのは、これまでの教員ごとのバラバラな指導方法があったからだ。アクティブ・ラーニングが出てきたのは、その解決を図ることが目的の一つだ。学習の始めには、学習課題を書き緑色の枠で囲む。一人学び、そして集団学び(ペア・グループ・全体)、まとめ、振り返りをするこうした授業過程を統一すること急務だ。子供目線に立てば、指導方法を統一する「授業づくりベーシック」が一つの指針となる。

①教師の多弁(スモールステップ)は厳禁 ②言語わざ(スキル)の導入(言語活動) ③班活動の導入(協働的な学び) ④授業進行係りの導入(協働的な学び) ⑤「考察(交流)」を行う(協働的な学び) 以上の5点をやりきる!

7 1時間の授業の流れ（具体的な学習指導の流れ・授業を次のように創る）

・授業の前に

①シラバスグッズを貼る ・本時の学習の流れ・キーワードカード

・キーワード内容 ・黒板全体に貼る）

②課題とゴールの設定 ・課題の青口枠を書く

・ゴールの赤口欄の設定（口欄の上に「課題の語尾」を書く）

・授業開始

③前時の振り返り ・振り返りノート ・模造紙 ・掲示物 ・子供が発表

④Ⅰ問題(資料)の提示 ・資料 ・学習問題 ・振り返り ・実物 ・体験活動

⑤Ⅱ問いをもつ ・問題等の気付き ・「気がついたこと・考えられること・調べてみたいこと」のカード提示

⑥Ⅲ問いの共有 ・問いの集約 ・ペア班全体で確認 ・大よその見通し ・どんな解決方法か

●⑦課題の提示

◎課題は行動目標

・「～できる」 ・「～と言える」

・「～と書くことができる」

◎2 段落課題 ア教科の追究課題の後、

イ考察(練り上げ)を意識した課題提示

「出し合ったことをもとに考察をしましょう。」

*教科により課題の提示時期は異なる。最初から出す場合もある。

⑦日付け・縦線 ・赤鉛筆 ・縦に1 cm線 ・日付とページ ・全教科同じ・子供の板書を増やす

⑧課題の下線 ・分かっていることは青の下線 ・聞かれていることは赤の下線

⑨課題の3回読み ・声を出す ・学習の参画 ・課題を書いた子供から読む ・学習リズム

⑩本時の学習の流れの提示 ・本時の学習の流れ ・単元全体の流れ ・ノートに書く ・黒板全体に貼る

⑪言語わざ ・結論→根拠と理由 ・賛同、同類、相違 ・対話言語わざ ・学習指導要領言語活動

⑫Ⅳ自力解決 ・時間の確保(10～15分) ・図、式、言葉 ・考えた訳も書く

⑬自力解決困難 ・グーパーの挙手 ・1対1 ・写す ・聞く ・ノート展覧会

⑭Ⅴ集団解決 ・コの字向き机 ・中央向き机 ・教師を見ない ・メモをする習慣

⑮ペア学習 ・褒めてアドバイス ・情報交換タイム ・メモをする習慣 ・タイマーの活用

⑯班学習 ・司会者方式 ・ワークショップ方式 ・ノート回し ・ノート展覧会

⑰教科進行係り ・学習7段階での司会進行 ・全体会での司会 ・まとめのまとめ役 ・グッズ掲示

⑱学び合い「単純意見交換」 ・意見や調べた事実の単純な意見交換 ・個人や班の代表が発表

*算数や数学で子供が発言したら、教師がすぐに説明をすることは厳禁(スモールステップとなりやすい)

*一つの例だが、板書した子供の説明を他の子供が行う方法もある

⑲学び合い「考察」 ・学習課題に迫る「考察」 ・多様な考えを知る ・比較や分類

⑳教師の修正 ・課題に迫れない時 ・付け足し ・切り替えしの発問 ・ねらいとの整合

*教師の出番は、ここである。

㉑Ⅵまとめ(価値の共有) ・教師は書かない ・まとめの赤囲み ・自分の言葉で書く ・リード文

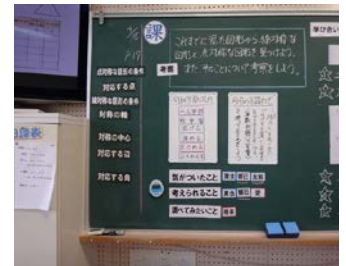
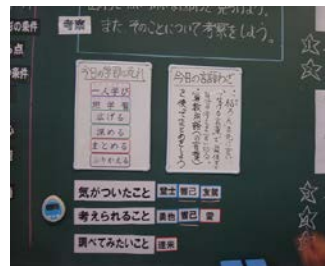
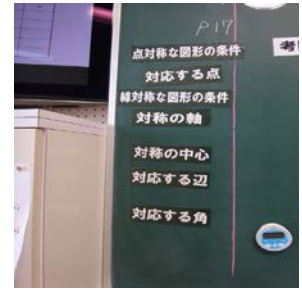
㉒まとめの発表 ・個人の意見を発表 ・仲間の意見をメモする ・3人発表 ・教師は板書

㉓まとめのまとめ ・教師がまとめない ・子供がまとめる ・発表者を褒める ・全体を褒める

㉔Ⅶ振り返り ◎3視点 ・分ったこと ・友達から学んだこと ・新たにやってみみたいこと

㉕振り返りの発表 ・個人の意見を発表 ・仲間の意見をメモする ・3人発表

㉖振り返りの振り返り ・教師は不可 ・発表者を褒める ・全体を褒める ・書き癖をつける





8 教科リーダー司会原稿（6年子供用）

《できるようになったら、原稿を見ないで言いましょう》

(1) 前の時間のふり返りを発表する。

司会「ふり返りを発表してください。」2～3人

(2) 問題を書き、線を引く

- ・分かっていること・聞かれていること・キーワード・単位
- ・「気がついたこと・考えられること・調べてみたいこと」など

司会「問題を〇〇読んだら座りましょう。」3回、1回、覚えたらなど

司会「分かっていることは何ですか」「聞かれていることは何ですか」

「キーワード（あれば）は何ですか」「単位は何ですか」

「みんなで課題を考えましょう。」

友「今日の課題は、〇〇と聞かれているので〇〇だと思います。」

〇〇の方法（求め方）を考えよう、〇〇の^{とくちよう}特徴について調べようなど

(3) 見通しを持ち、学習の流れ、課題の確認をする。一人学び開始

司会「課題を読みましょう。」

司会「どうやったら解けそうですか。」

友「〇〇すると（使うと）できそうです。」（考えが出なかったら、ペア学び）

司会「今日の学習の流れは、一人学び、ペア学び、班学び、学びあい、まとめ、ふり返りの順です。」

「言語わざは、〇〇です。」

司会「今日の課題は、〇〇です。それでは、一人学びを始めてください。」

(4) ペア、班学びをする。

司会「一人学びをやめてください。次にペア学びです。言語わざを使って話しましょう。それでは、始めてください。」

司会「ペア学びをやめてください。次に班学びをしてください。」

(5) 学びあいをする

司会「班学びをやめてください。次に学びあいです。考えた方法（調べたこと）を発表してください。」

(6) 考察をする

司会「みんなから出された考え（調べたこと）から、共通点や^{そういてん}相違点、気がついたことはありませんか。」

友「共通点は〇〇になっていることです。」^{そういてん}「相違点は、〇〇が違っています。」

「気がついたことは〇〇です。」

(7) 考察から、まとめをする

司会「みんなの考えや、考察から今日のまとめをしましょう。」

司会「まとめを発表してください。」

(8) 司会「振り返りを発表してください。」

課題の言葉を使って、まとめよう

練習問題がある場合は、まとめの後に！

（高知県津野町立中央小学校）

10分間で出来る指導案（指導案疲れにならない）